

【JBA創薬モダリティ基盤研究会会員、JBA法人会員、JBA個人会員（アカデミア）限定】



JBA創薬モダリティ基盤研究会

核酸・RNA創剤技術としての LNPの応用と将来展望

開催日時：2024年11月18日（月）13時15分～14時40分

セミナー形式：MS-teams（定員200名）

主催：（一財）バイオインダストリー協会
創薬モダリティ基盤研究会

座長：和田 猛 氏（創薬モダリティ基盤研究会副会長
東京理科大学 薬学部生命創薬科学科教授）

講師：秋田 英万 氏
（東北大学大学院薬学研究科 教授）



核酸や遺伝子等を医薬品とするためには、標的となる疾患臓器に届くだけでなく、細胞内の標的の細胞内小器官まで、薬剤分子が送達されるための、DDS技術の開発が不可欠です。秋田先生は、このための技術として、ssPalmを開発し、さらなる展開を進めておられ、新たな医療の実現にむけ取り組んでおられます。今回は、核酸・RNA等へのLNP技術の応用研究の最新情報をアップデートいただき、さらに幅広いモダリティへの応用・可能性、将来展望を講演いただきます。

MS-teams：JBAホームページよりお申し込みください。

締切：2024年11月13日（水）17時

お問合せ：（一財）バイオインダストリー協会
（担当：渡邊、北嶋、岸本、瀬下）